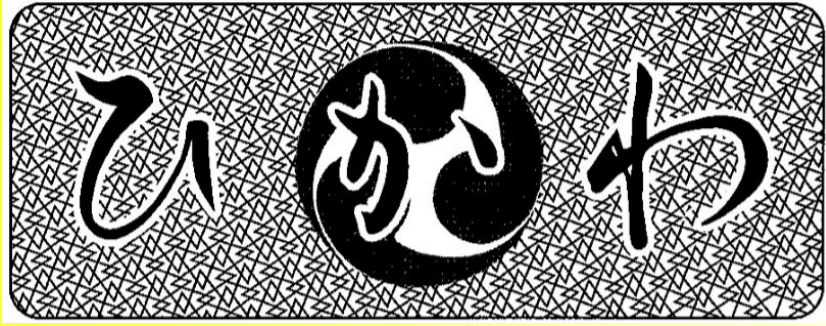




発行所
氷川神社社務所

日本唯一
気象神社

〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-44-19
電話 03-3314-4147
FAX 03-3315-0034

氷川神社
公式HP



気象神社
公式HP



高円寺氷川神社
公式 Twitter



気象神社でも日最高気温35℃以上の猛暑日が続いています

大気が不安定になる？！

この時期に天気予報でよく耳にする「大気が不安定になる」とは、どういうことでしょうか？それは地上の上空(基準は上空5500mあたり)との気温差が大きく(40℃程度)なったときに、大気は不安定になります。この時期のように地上が高温となる時(さらに上空に強い寒気が入る時)は、「対流」という空気の上下運動が活発になり、そこで上昇流が発生して、積乱雲が発生します。

暑さ指数(WBGT)

暑さ指数(Wet Bulb Global Temperature)は熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に大きな影響を与える①湿度②日射③気温の3つを取り入れた指標です。以下が暑さ指数の目安です。

- 31以上：危険
- 28以上31未満：厳重警戒
- 25以上28未満：警戒
- 25未満：注意

上の気象神社電子表示板では暑さ指数が28.9℃以上で「厳重警戒」となっています。

今年も暑い夏が到来しました。この10月20年で私たちを取り巻く気候環境は様変わりしました。連日、日中は最高気温35度を超える「猛暑日」が続く、その結果、夕方には大気が不安定となり、天気が急変、雷を伴う短時間強雨が降ります。以前では考えられなかった天気が続き、局地的には大雨による災害、つまり浸水害、洪水害、土砂災害が発生し、甚大な被害をもたらしています。

自然の力には到底抗えませんが、最近、気象神社には「晴天祈願」はもちろんです、この気候変動、異常気象による気象災害が少しでも落ち着くことを祈願する参拝者が増えております。大難が小難となることを祈念します。

～高円寺氷川神社 令和7年 神幸祭～



【本社神輿巡幸ルート】

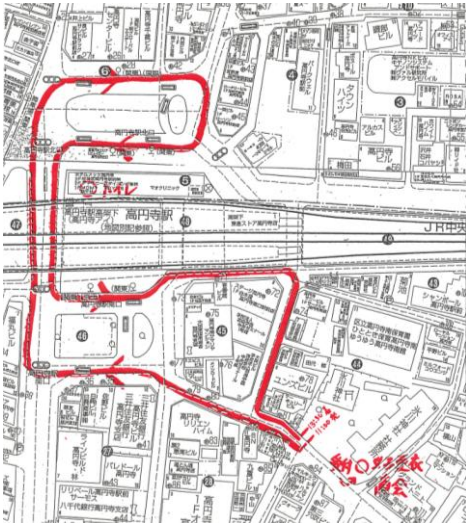
令和7年8月23日(土)

10:00～11:00
開祭式、式典、神事
11:00～12:00
神輿渡御

コロナ禍を経て、昨年も無事に神幸祭を斎行することができました。氷川神社では令和元年の御代変わりの年に本社神輿が誕生し、氷川神社、そして高円寺氏子地域で初めての神幸祭を斎行することができました。今年も昨年同様の内容での開催ですが、氏子地域の皆様には立派な本社神輿を見て戴ければと思います。



令和6年神幸祭
本社神輿の宮入りの様子
総勢150名の神輿渡御となりました



先日、神社近所の光塩女子学院初等科二年生の皆様が担任の先生方の引率のもと、氷川神社、気象神社にお越しになりました。その後、児童の皆様から素敵な「町たんけん はっ見メモ」を戴きました。

光塩女子学院初等科二年生町たんけん



★かつてのこうえんじん★ (第十七話) 高円寺の100年(中編)

「誤解を恐れずに書くが、戦前の我が国では戦争というのを、国民の多くは肯定的に受け止めていたと思っている。日清戦争で多額の賠償金を取り、日露戦争ではサハリンの南半分を領土とし、第一次世界大戦では戦勝国となり、明治維新からおよそ50年で、日本は世界の五大国のひとつにまでなった。

歴史の転換点はいくつもあるが、第一次世界大戦は世界を大きく変えた戦いであった。日本は中国大陸にあったドイツ領青島を攻略するなど、比較的小さな戦いで終わったが、ヨーロッパ大陸で繰り広げられた、近代文明を駆使した戦争は、多くの非戦闘員である市民を巻き込んだ、総力戦の始まりとなった。総力戦とは、軍事力だけでなく経済力、政治力、思想、文化など、あらゆる分野を総動員する戦いのことだ。

戦前は全ての男子臣民は、満20歳になると徴兵検査があり、およそ2年間軍務に服す義務があった。平時(戦争のない時)の軍隊では、兵は日本各地にあった駐屯地や艦船で訓練をしながら寝起きし、兵役を勤めていた。兵役が明けても、普通に働きながら、予備役や後備役として一定期間軍隊に籍をおき、定期的に訓練を受け、戦争となり召集令状がくれば、戦場に送られた。市民生活といったことになって軍隊は存在していたのだ。

召集令状が届き、戦場に赴くべく、出征する兵士の見送りは、大げさではなくお祭りのようだ。タスキを掛けた軍服姿の出征兵士は、正装をした多くの見送りの人に囲まれ、お礼の挨拶をする。生家は、神酒所のように紅白提灯や祝出征の看板が掲げられ、幟には大きく名前が書かれる。行進のように駅まで見送り、万歳の声がかまするなか、何度も頭をさげる兵士。将来の仕事を知ると「兵隊さん」と多くの男の子が答えた時代だった。着物姿にタスキを掛け、見送りの世話をしている女性は、町会や隣組の役員だ。隣の中野区の例だと、昭和7年に区に昇格すると、

各地域に78の町会がつくられたという。町会は行政の補助期間の役割を持ち、昭和12年の日中戦争以降では、家庭防火郡や班が組織され、空襲を想定した消防訓練が行われるようになった。そこには予備役兵が組織する在郷軍人会の兵隊が指導にきて、市民と軍の協力関係が強固になった。町内会は総力戦の末端組織としても、戦時体制を支えるための国民精神を総動員し、慰問袋をつくるなど銃後でできる後援活動、軍費となる貯蓄や国債の購入の奨励、金属の供出を要請して回収、そして太平洋戦争の末期には食料を含む物資の配給になった。警防団、青年団、女子青年団、愛国婦人会、国防婦人会、など様々な組織が総力戦を支えるために活動をしていた。短期間で終わると思われた日中戦争は長引き、陸軍は満州など中国大陸からの資源のみで戦争を続けるには十分ではないと判断し、東南アジアに目を向ける。当時事実上ドイツの占領下にあった、フランス政府と交渉し、フランス領インドシナに進軍した。それがアメリカの反発を招き日米戦に突入することになる。

昭和19年の7月9日にサイパン島が陥落した。それが意味したのは、日本本土が戦略爆撃機B29の射程距離に入ったということだ。これを受けて政府は東京に住む小学生の地方への疎開を決めた。高円寺の南にある堀之内国民学校(現堀之内小学校)の学童疎開の動画の記録がある。熊谷辰男という父親がカメラなどを提供し、遠藤正男という訓導が撮影した。昭和19年の8月19日に3年以上の男女生徒が長野県北佐久郡に向けて出発した。芦田村にあるお寺の本堂で寝起きをする姿からはじまり、皇居に向かっての拝礼本堂での勉強する姿、食糧不足を補うための畑仕事、山での薪拾いなどが収められている。昭和20年の5月には二次疎開が行われ小学校1年生を含む全ての生徒の生活が始まった。幼児の姿から抜けきれない、小学校1年生を

見ると、その親の心境を思うと、居たたまれない気持ちになる。

昭和20年5月25日の夜から26日の未明にかけて498機のB29によって山の手空襲が行われた。これによって高円寺も大きな被害を被った。それを「戦災スケッチ」として描いたのが織田信大だ。旧丹波藩織田家に生まれ、東京美術学校洋画科を卒業、美術出版巧芸社の常務を務めた。「高円寺駅東口」は肉屋のジャンプから東より純情商店会のT字路から駅方向を描いたものだ。左に見える赤い屋根が高円寺駅、右にある煙突はかつて銭湯だった旧大一市場だと思われる。「高円寺本堂跡」は焼け落ち石積みのお台座のみ残る姿が描かれている。高円寺の戦災の様子がよくわかる二枚の絵画だ。銃後を支える様々な活動をし、愛する子供と離れ離れで暮らし、生きる基盤である家まで焼き払われ、生活のすべてを戦争の勝利のために捧げた、多くの市民が、昭和20年8月15日の終戦で味わった虚脱や虚無は、いかばかりだったろうか。戦争を起さないうために、悲惨な戦争を忘れない、というのも大事だろう。戦争の記憶から、あまりにも遠くなってしまう今、かつての動画や写真を見ても、ピンとこない人の方が普通だろう。友人や知人と仲良く過ごし、困った人がいたら声をかけ、外国からの観光客を親切にする。身近を幸せにするのが、手軽に出来る、戦争を遠避ける術だと、私は思っている。

狩野俊



氷川神社 神幸祭

日時：令和7年8月23日(土)
10～12時(予定)

巡幸路：高円寺駅南北広場ロータリー



担ぎ手募集

対象：原則、氏子地域にお住まい、仕事をされている方、学んでいる方、前回担がれた方(応相談)

連絡先：

氷川神社・紺谷大進

☎03-3314-4147

Email : kontani.daishin@koenji-hikawa.com



氷川神社 例大祭

日時：8月24日(日) 10時

- ・エルガーハウスの子もたちによる出店、キッチンカー、地元のお店などの出店、大道芸人による飴細工作りなどを予定しています。
- ・19時前後に閉門となります。(予定)



お知らせ

今月の花手水

【氷川神社】

- ・阿波おどりの三つ巴
- ・艶やかな女踊り

【気象神社】

- ・鮮やかな夜の提灯
 - ・力強い男踊り
- ※公式サイトに過去の御朱印を掲載していますので、ご覧ください。

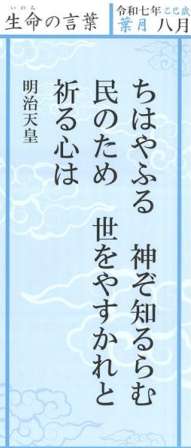


令和7年8月の御朱印



今月の御朱印

いのち 生命の言葉(令和七年八月)



御心聡い神はきつと知ってください
ることであらう
国民のため安らかな世の中である
ようにと祈っているこの心は

氷川神社では各種祈禱を承っておりますので、お気軽に神社までお問い合わせ下さい。
また気象神社では晴天祈願をはじめとする各種祈願を承っております。(会社、法人、団体様のみが対象となります)

◆ご祈禱のご案内



8月19日(火) NHKBS
「新日本風土記」(20時00分
(20時59分)に気象神社が
登場予定です。お時間があれば、
ご覧ください。
※放送予定日や放送内容が変更になる可能性もあります

◆「新日本風土記」に

気象神社が登場予定

今月の盆栽



氏子地域の盆栽屋ラビア
デッソ様が毎月盆栽を神社に
届けてくれています。素敵な
盆栽を毎月紹介していきます。



編集後記

ひかわ233号をお送りしました。連日、日最高気温35度を超える「猛暑日」が各地で続いています。最近は一気に気温が上がり、湿度や日射量も考慮した「暑さ指数」が発表され、熱中症への警戒も呼び掛けられています。
夏越の大祓も終わり、次はいよいよ夏の例大祭、神幸祭です。高円寺名物阿波踊りも同日開催、高円寺が最も熱くなる時期です。暑さに負けず、日々地道に準備をしていきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。